



患者友の会より

8月号の記事では、患者友の会の目的・趣旨を説明いたしました。
今月は毎月の透析治療の医療費について、少し説明いたします。

毎月の総額は、**外来血液透析では約40万円**になっております。これに対し、費用の公的補助制度が確立しています。

右の表をご覧ください。概ね、表のように区分されております。これ以上自己負担が増えない様に全腎協として頑張ってください。

※さて9月はカルチャーロードが中止されまして、患者友の会の活動は特にできませんが、**国会請願の署名集め**だけは、行います。患者さん、特に会員の皆様には格別のご協力を頂きながら、できるだけたくさんのお署名を集めて全国の分と共に集計し、国会に届けます。何卒、ご協力をお願い申し上げます。

署名用紙は玄関の患者会ポストにあります。記入済みの用紙もポストに投函して下さるよう、お願い致します。

鷹揚郷弘前病院 患者友の会 会長 木村健二

患者会への入会

メリットが無い???

患者会に入りませんか？と勧めると、会に入っても何のメリットもないという人がいます。果たしてそうでしょうか？

私達透析患者は週3回4~5時間の透析治療によって延命できています。しかも年間500万円前後の治療費がかかります。この医療費が健保上の特例や県・市町村から助成されていることは、メリットにならないのでしょうか？

この制度は、私達患者会の先人達が、幾年にも渡って時の政府に粘り強い要望を重ね、ようやく手に入れたものです。ただ黙って待っていて転がり込んできた制度ではないのです。



私たちの医療費

医療費の総額 400,000円(月額)		
健康保険からの支払額 (7割)	280,000円	自己負担(3割) 120,000円
自己負担額 (3割) 120,000円(月額)		
特定疾病に係る高額療養費支給特例	110,000円	自立支援医療 5,000円
		重度心身障害者医療費助成制度 5,000円 (自己負担なしの場合)

特定疾病に係る高額療養費支給特例とは…

長期間にわたって継続しなければならず、著しく高額な医療費が必要となる疾病については、自己負担限度額を通常の場合より引き下げ、1万円(人工腎臓を実施している慢性腎不全の上位所得者は2万円)とすることにより、医療費負担の軽減を図る特別制度です。

- 70歳未満で被保険者の標準報酬月額が53万円未満の場合(一般所得) … 1万円
- 70歳未満で被保険者の標準報酬月額が53万円以上の場合(上位所得) … 2万円

※ 70歳以上 … 1万円

自立支援医療(更生医療)とは…(人工透析=重度かつ継続を適用)

更生医療とは、身体障害者福祉法第4条に規定する身体障害者で、その障害を除去・軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できるものに対して提供される、更生のために必要な自立支援医療費の支給を行うものです。

所得区分	自己負担額	
一定所得以上(市町村民税235,000円以上)	20,000円	
中間所得	中間所得2(市町村民税33,000円以上235,000円未満)	10,000円
	中間所得1(市町村民税33,000円未満)	5,000円
低所得2(市町村民税非課税で本人所得800,001円以上)	5,000円	
低所得1(市町村民税非課税で本人所得800,000円以下)	2,500円	
生活保護世帯	0円	

重度心身障害者医療費助成制度とは…

乳幼児、小学生、中学生、ひとり親家庭の児童、高齢身体障害者、重度身体障害者の心身の健康保持と生活の安定を図るため、健康保険を使って医療機関を受診の際に窓口で支払わなければならない自己負担額を、県と市町村で助成する制度です。現在は、上記のような医療費助成制度で、わたしたちは一部負担及び自己負担なく透析治療が受けられています。しかし、マル障・マル福(県独自の医療費助成制度)が改善され、一部自己負担が発生しているところが、全国で27都道府県に上っています。

<出典:全腎協 東北ブロック記事より抜粋>

この制度を当然の事と思っている人達があります。このようなありがたい制度が、何もせずに未来永劫に渡って続くものかと思っていたら大きな間違いです。

私達透析患者は、周りのみなさんの理解と協力があって、日々治療が受けられるのです。これは決して当たり前的事ではありません。治療費が一定の自己負担であるという事は、代わりに誰かが負担しているという事です。「**だれでもいつでもどこでも安心して透析が受けられる**」このことが私達透析患者の最大のメリットではないでしょうか。このメリットを継続していくことがわれわれ患者会の役目ではないでしょうか。

<出典:全腎協 東北ブロック記事より抜粋>

ワンポイントアドバイス ～臨床検査部より～



今回は『**血圧脈波検査**』のお話をしたいと思います。名前だけだと何の検査？と思いますが、あお向けの状態で①シャント側でない腕と②両足首と③両足親指に血圧計を巻いて検査するアレです。

さて、この検査で何が分かるのでしょうか？ 透析患者さんは長期の透析により動脈硬化が進行しやすいといわれています。様々な症状を引き起こす動脈硬化症ですが、**いちばん恐ろしいのは「気づきにくい」**ことです。手遅れにならないように、普段から血管の状態をチェックすることが大切です。



では、どうやってチェックしたらよいの？ 動脈硬化症の進行は「**足の痛み**」として現れることが多いといわれています。下記のような足の痛みを感じることはありませんか？

「**一定の距離を歩くとふくらはぎが痛くなり、少し休むとまた歩けるようになる**」

「**夏でも足がすごく冷たくてしびれる**」

このような症状に心当たりがある方は動脈硬化症が疑われます。足の血管に動脈硬化が進行している場合、歩行による痛みやだるさを感じることがありますが、**糖尿病の方は痛みなどの症状が出にくいので、「足がすごく冷たい」場合は要注意**です。

足の動脈硬化は「**腕と足首の血圧**」を測ることで簡単に進行の程度を知ることができます(ただし、家庭用の血圧計では測定できません)。健康な方の足首の血圧は腕の血圧より高いのですが、足の動脈が細くなったり、詰まってきたりすると血流が悪くなり、足首の血圧は低くなります。『**血圧脈波検査**』は手足の血圧を同時に測定することで、**動脈の詰まりの程度と動脈の硬さの程度**を数値として表すことができます。

この検査は定期検査として年1回行っていましたが、残念ながら、新型コロナウイルス感染予防対策として現在は行っておりませんので、「**足の痛みやしびれ**」を感じたらすぐに看護師に相談して、検査を受けるようにして下さい。自分の足は自分で守りましょうね！



リレー寄稿

放射線部主任の大湊です。妻は鷹揚郷の元職員で臨床工学技士として働いていました。今は弘前大学病院で元気に働いています。馴染みの患者さんにはお声掛けを頂き、本人も仕事の励みにしております。

僕達夫婦の共通の**趣味は旅行**で、最近では半自作の旅をテーマに旅程を立てています。印象に残っている旅行先は**中東のアラブ首長国連邦(UAE)にあるドバイ**と言う都市です。産油国として栄えていましたが、早くから観光業にも力を入れており、とても豊かで魅力あふれる都市です。所得税等の税金が無く、稼いだ分はすべて収入となるため、ここに出稼ぎに来ている人が多いそうです。

純粋なアラブ系民族ともなれば、医療費や教育費も国が補助、掛かるのは食費と光熱費くらいと羨ましい限りですよね。犯罪率も低く、他の旅行先に比べて、**清潔で安全な都市**という印象を持ちました。

中東と言えば、イスラム教過激派組織の影響もあり、リゾート地とは言え、危険なイメージがあると思います。ガイドさんの話によると、ドバイの近隣諸国では、拉致やテロ等が行われており危険ではあるが、ドバイは過激派組織に資金提供をしている都市で、そういった組織にとって、最も重要な資金源となっているため、**ドバイ**において、**拉致やテロを行う事は絶対にない**との事でした。

資金が無ければ活動できない組織は、活動資金を得るためのパフォーマンスによって人の命を犠牲にすることがあります。そういったニュースを見るたびに悲しくなりますよね。

何事も世界を目指しているドバイ、**世界一高いブルジュハリファというビル**に昇り、その展望台から眺望する景色は、エメラルドやサファイアの如く澄んだ海と砂漠の中に立ち並ぶビル群が、気温の高さも相まって、幻想的で独特な雰囲気漂わせ、不思議な魅力を感じさせてくれました。

世界を動かす一握りの有能な人々は雲の上で様々な交渉に日夜励んでおられると思いますが、末端にいる僕は、**与えられた命を大切に、仲間同士で争うことなく思いやりを持って接し、日々の業務に取り組んでいきたいな**♥と思います。

最後まで、駄文にお付き合い頂きありがとうございました。

次回は臨床検査技師の柿崎嘉隆君にお願いしたいと思います。



ブルジュハリファ

【編集後記】 9月に入っても残暑厳しき日々でしたが、ようやく爽やかな秋を迎えられそうです。敬老の日を挟んで4連休。短い秋を楽しみたい！

鷹揚郷 広報部